

## NPO 法人トラストサルン釧路 平成 30 年度活動報告

トラストサルン釧路は、釧路湿原の生態系を保全するため流域内に自然保護地をつくり、生態系の維持と回復、調査研究、普及啓発、提言等の活動をしています。平成 30 年度は会の発足 30 周年でもあり、会員はじめ多くの方々のご支援のもと活動し、定款に定めた特定非営利活動に関わる以下の事業を実施しました。また、これまでの 30 年間にわたる活動が認められ、全国規模での表彰を 2 件受けることができました。

なお平成 30 年度において、非営利活動以外の活動（収益事業）は行っていません。

### 1. ナショナルトラスト活動

平成 30 年度は、釧路町トリトウシで国立公園外の土地のご寄付により 1 カ所 331 m<sup>2</sup>、標茶町クチョロの国立公園外の湿地購入で 1 カ所約 50.3ha の新規トラスト地（自然保護地）が成立しました。これで保護地は 29 カ所、合計 506ha 余りになりました。また現在検討・交渉中の候補地が 3 件あります。

### 2. 自然再生の取り組みと保護地の管理

自然林再生のために地元樹種の苗づくりを継続して行い、勝野遺贈金を活用した就労支援組織との協働で約 8,000 本、会員等のボランティア作業により約 3,000 本の地元樹種の苗木を育苗しました。またこれらの苗木を用いて市民参加およびボランティアにより 366 本、指定寄付に基づく高齢者事業団への委任により 328 本、合計 694 本の植樹を行うことができました。シカの食害を防ぐためのネットの設置と維持補修も行いました。保護地を示す看板の新設と改修を行いました。

### 3. 会の基盤づくり

『湿原の新聞』の配布や、会員による勧誘を行い、会活動の基盤となる会員拡大に継続して努力しました。退会者はあったものの平成 30 年度の会員数はほぼ現状維持となりました。湿原保護基金には新たに 46 件の合計 1,178,000 円が集まったほか、運営費への寄付も多数寄せられました。自然林再生を目的とした指定寄付も受けたほか、次年度の自然林再生のための助成金を獲得しました。

### 4. 広報・主張・啓発活動

会の発足 30 周年を記念して、市民参加の春の植樹会、自然保護地の視察会、水鳥観察会を広報して開催し、会員外の参加も得ました。会員向けの会報『サルンだより』を 4 回

発行しました。昨年度発行の『湿原の新聞』を活用して一般に向けた広報活動を行い、インターネットのホームページでも会の活動を紹介しました。国際ソロプチミスト日本財団から表彰を受けたことや 30 周年を迎えたことで、マスコミを通じて会の活動が紹介されました。釧路湿原自然再生協議会では、湿原保全を第一とする立場から意見を述べています。

## 5. 他機関・団体との連携

地元野鳥の会との共催行事を行ったほか、近隣の霧多布湿原ナショナルトラストへ植林作業に関する助言を行いました。国際ソロプチミスト釧路アミティとも交流がありました。研究機関との湿原保全に関する意見交換や、専門家との希少生物に関する情報交換も行いました。

### 【ご寄付】

#### ○企業等より

北海道中小企業家同友会くしろ支部より「苗代として」⇒緑化事業の指定寄付として受入れ

(株)さっぽろ自然調査館、山梨学院小学校けやきの会、ソロプチミスト釧路アミティ、(株)藤プリントより⇒湿原保護基金へ

(株)カイトー商会、JA 釧路地区女性協議会、ソロプチミスト日本財団、富士ゼロックス端数倶楽部、(株)富士ゼロックス、(株)藤プリントより⇒一般会計へ

#### ○個人より

湿原保護基金への寄付、一般会計（運営費）への寄付、指定寄付など、Yahoo ボランティア募金も含めて多数の方々からいただきました。

### 【助成金等】

○平成 29 年度（2017 年度）中に受けた緑化活動に対する助成金（コープさっぽろ未来の森づくり基金）100,000 円を平成 30 年度（2018 年度）の自然林再生活動に生かしました。

○2019 年度の緑化活動に対する同助成金 100,000 円を、平成 30 年度（2018 年度）中に新たに受け入れました。

### 【表彰】

○国際ソロプチミスト日本財団の顕彰する「社会ボランティア賞」を受賞

○日本自然保護協会の選定する「日本自然保護大賞 2019」に入選

平成 30 年度活動日誌（主なもの）

【2018】

- 4/8 サルンだより 120 号発行  
4/25 第 1 回理事会（通常総会への提出議案）  
5/1 定例監査  
5/5 ボランティア植林開始。釧路町東陽の湿地確認  
5/7 勝野資金による育苗事業開始  
5/11 高齢者事業団に委任する植林事業開始  
5/18 チルワツナイ流域の森林伐採現場視察  
5/20 30 周年記念「湿原再生の森づくり」に 27 名参加  
5/21 サルンだより 121 号発行  
6/10 平成 30 年度通常総会  
6/15 自然再生協議会湿原再生小委員会出席  
6/20 第 2 回理事会（正副理事長の互選他）  
6/21 国設鳥獣保護区の見直しへの意見提出  
6/30 くしろエコ・フェア（イオンモール釧路昭和店）で『湿原の新聞』を配布  
7/7 ホタル保護地・達古武西湿原保護地を示す木杭を新調  
7/19 27 号保護地の看板設置  
7/22 30 周年記念の保護地視察会（27 号地）20 名参加  
8/16 サルンだより 122 号発行  
10/8 中止になったどんぐり記念日に代え

- て会員らでどんぐり播種 7 名参加  
11/8 釧路東部森林組合より作業道の使用についての打診に対応  
11/11 30 周年記念「達古武沼の水鳥観察会」26 名参加、23 種類を確認  
11/13 ソロプチミスト日本財団の社会ボランティア賞を受賞（仙台市）  
12/4 湿原再生小委員会  
12/17 第 3 回理事会。道総研環境科学センターによる研究紹介を受ける  
12/19 ナショナルトラスト全国大会で『湿原の新聞』を配布  
12/24 第 29 号自然保護地売買成立  
12/25 ソロプチミスト釧路アミティにて卓話

【2019】

- 1/15 サルンだより 123 号発行  
1/21 「日本自然保護大賞 2019」に入選  
1/26 コープさっぽろ「森づくり交流会」および 2019 年度森づくり助成金贈呈式  
2/18 認定 NPO 霧多布湿原ナショナルトラストの要請で植林予定地の視察・助言  
2/16 釧路湿原自然再生協議会に出席  
3/20 取得候補地の現地確認